

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

| | | | |
|----------------|----|---|--------------------|
| 評価対象事業 | | 評価者 | 深沢地域整備課長 齋藤 政徳 |
| 拠点-07 深沢地域整備事業 | | <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 | 主管課 深沢地域整備課 関連課 |
| 総合計画上の位置付け | 分野 | 市街地整備 | 施策の方針 市街地整備の推進 |

1 事業の目的

| | |
|----|-------------------------------|
| 対象 | 市民等 |
| 意図 | 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため |
| 効果 | 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する |

2 平成26年度に実施した事業の概要

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の推進を図るため、専門家の支援を受け、権利者との事業に関する調整等を行うとともに、社会経済状況等の変化に伴う事業スキーム(民活市施行)の再構築、事業費縮減方策の検討、土地利用計画(案)の精査等を行った。 ・B用地の一部で土壌汚染対策処理等を行った。 ・事業区域内の市有地(A・C用地)について、地歴調査業務を行うとともに、土壌汚染調査業務等を実施した結果、汚染が判明したため、ブルーシート等を設置し、飛散防止等の対策を行った。 ・既に取得した用地の管理を行った。 ・「湘南地区整備連絡協議会」の運営を行った。 ・湘南地区整備連絡協議会において、村岡・深沢地区総合交通戦略の策定、新駅設置コスト縮減方策検討調査等については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。 ・市街地整備についての情報収集を行うため、市街地整備促進協議会に参加した。 |
|---|

3 事業費等基礎データ

| データ | データ区分 | 27年度当初予算 | データ区分 | 26年度決算 | 備考 |
|--------|---------------|----------|---------------|----------|----|
| | 人口等の | 人口 | 177,243人 | 人口 | |
| | 世帯数 | 80,676世帯 | 世帯数 | 80,368世帯 | |
| | 事業の対象者数 | | 事業の対象者数 | | |
| 運営資源状況 | 当初予算(千円) | 48,344 | 決算値(千円) | 127,803 | |
| | 国県支出金 | | 国県支出金 | | |
| | 地方債 | | 地方債 | | |
| | その他 | 26,755 | その他 | 28,541 | |
| | 一般財源 | 21,589 | 一般財源 | 99,262 | |
| 事業費運営 | 人員配置数 | 7.0 | 人員配置数 | 7.0 | |
| | 人件費(千円) | 54,866 | 人件費(千円) | 53,245 | |
| | 総事業費(千円) | 103,210 | 総事業費(千円) | 181,048 | |
| | 市民1人当りの経費(円) | 582 | 市民1人当りの経費(円) | 1,020 | |
| | 対象者1人当りの経費(円) | | 対象者1人当りの経費(円) | | |

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

| | | | |
|----------------------|--|---|---|
| 平成26年度事業実施にあたっての課題 | 都市計画決定手続の開始に伴う、JR東日本との基本合意 | | |
| 課題解決のために行った平成26年度の取組 | JR東日本との協議継続をお願いしたものの、都市計画決定手続を見合わせたことを受け、協議が休止している。 | <input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決 | |
| 未解決の課題 新たな課題 | ・都市計画決定手続の再開に向けた、西側権利者、JR東日本との合意形成 ・平成26年12月議会において採択された陳情を踏まえた土地利用計画の修正 ・土地利用計画の修正、事業スキームの精査等を踏まえた土地区画整理事業の再構築 | | |
| 効率性 | 事業費に削減余地はないか | 2. ない | |
| | 関連・類似事業との統合はできないか | 3. 統合できない | |
| 妥当性 | 事業の実施に対する市民ニーズはあるか | 3. 変わらずにある | |
| | 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか | 3. 廃止・休止による影響は大きくある | |
| 有効性 | 事業の成果は得られているか | 2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である | |
| | 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか | 4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している | |
| 公平性 | 受益者負担は公正・公平か | ○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある | |
| | 協働 | ○.協働実施済 ○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である | |
| 事業内容の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒ | 見直しの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 | 見直しの内容 ・深沢地域整備事業(土地区画整理事業)の実現のためには、村岡新駅設置に向けた前向きな検討を進める必要がある。 ・そのために新たな国庫補助金の導入に向けた研究など事業費削減に向けた検討を行う。 |
| | 事業内容・予算規模の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する | 事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・新駅の費用負担については、関係機関と協議・調整を図り、最小限の負担となるよう検討するとともに、本事業に対するJR東日本との協力を求めるための交渉を行う。 ・民間活力の活用を最大限取り入れる事業スキーム、及び国庫補助金を有効に活用できる事業計画を検討する。 |
| 総評 | 深沢地域整備事業(土地区画整理事業)の実現に向け、西側権利者及びJR東日本との合意形成を図り、早期の都市計画決定手続の再開を目指す。 | | |

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

| | | | | | | | | | |
|----------------------|---|-------|------|-----|------|------|-----|-----|-----|
| 比較事項 | 施行中の土地区画整理事業のうち、公共団体等施行の地区数割合(下段は施行実績) | | | | | | | | |
| 団体名 | 鎌倉市 | 藤沢市 | 茅ヶ崎市 | 平塚市 | 小田原市 | 横須賀市 | 葉山町 | 逗子市 | 三浦市 |
| 他市実績 | 0 | 2/7 | 0 | 1/3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 1/2 | 12/40 | 2/7 | 3/7 | 6/19 | 7/24 | 0 | 0/3 | 1/8 |
| 比較事項 | | | | | | | | | |
| 団体名 | 鎌倉市 | 藤沢市 | 茅ヶ崎市 | 平塚市 | 小田原市 | 横須賀市 | 葉山町 | 逗子市 | 三浦市 |
| 他市実績 | | | | | | | | | |
| 比較事項 | | | | | | | | | |
| 団体名 | 鎌倉市 | | | | | | | | |
| 他市実績 | | | | | | | | | |
| 当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方 | 土地区画整理事業は、道路・公園等の都市施設を整備する最適な事業手法であり、他市において高い実績を上げている。本事業においても、第3期基本計画に位置付けている鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点の実現を図るためには、最適な手法である。 | | | | | | | | |

◎ 事業実施に係る指標

| | | | | | | | |
|--|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 指標の内容及理由 | 市民意識調査結果における「新しいまちづくりを進めている」と思う市民の割合(深沢地域) | 単位 | % | 指標の傾向 | ↘ | 備考 | |
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
| 当該事業の実施により、深沢地域の住民が新しいまちづくりに関心を持ってもらうため。 | 目標値 | 50.0 | 50.0 | 55.0 | 55.0 | 60.0 | 60.0 |
| | 実績値 | 46.0 | | | | | |
| | 達成率 | 92.0% | | | | | |
| 指標の内容及理由 | 市民意識調査結果における「まちづくりが計画的に進められている」と思う市民の割合(深沢地域) | 単位 | % | 指標の傾向 | ↘ | 備考 | |
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
| 当該事業の実施により、深沢地域の住民が計画的なまちづくりに関心を持ってもらうため。 | 目標値 | 30.0 | 30.0 | 35.0 | 35.0 | 40.0 | 40.0 |
| | 実績値 | 26.3 | | | | | |
| | 達成率 | 87.7% | | | | | |
| 指標の内容及理由 | 都市計画決定、事業計画認可(権利者合意率2/3確保) | 単位 | | 指標の傾向 | ↘ | 備考 | |
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
| 都市計画決定及び事業計画認可に必要な権利者合意率2/3以上を確保しないと当該事業が進まないため。 | 目標値 | 2/3以上 | 2/3以上 | 2/3以上 | 2/3以上 | 2/3以上 | 2/3以上 |
| | 実績値 | 2/3 | | | | | |
| | 達成率 | ○ | | | | | |
| 指標の内容及理由 | | 単位 | | 指標の傾向 | | 備考 | |
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
| | 目標値 | | | | | | |
| | 実績値 | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | |
| 指標の内容及理由 | | 単位 | | 指標の傾向 | | 備考 | |
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
| | 目標値 | | | | | | |
| | 実績値 | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | |
| 当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方 | 都市計画公聴会において、土地利用計画に対する様々な要望や意見を受けたことなどの理由から都市計画決定手続を見合わせていたが、一定の対応方策がまとまったことから、今後は、深沢地域住民のまちづくりに係る関心度を高め、本事業の実現を目指していく。 | | | | | | |

● 事業に関する特記事項

| | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業 | <input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業 |
|---|---|